

公営プールに関する現況調査結果

芦原公園の再整備に際し、近隣市などの公営プール施設と比較するため、施設の利用者数や施設数について簡易な調査を行いましたので、アンケート回答の参考としてください。

【調査概要】

尼崎市の近隣自治体(中核市)などを対象に調査を実施。(調査対象 14 市)

- ① プールの利用率・・・プール施設の年間利用者数を基に利用率を算出した指標
- ② 1 施設あたりの人口(人口カバー率)・・・市域の人口をプール施設数で割り戻した指標
- ③ 1 施設あたりの面積(面積カバー率)・・・市域の面積をプール施設数で割り戻した指標
- ④ 利用料金・・・各市のプール利用料金を調査

【公営プールの現況調査結果】(尼崎市の順位) ※()内の順位は芦原プールを除いた場合の順位

① プールの利用率 14 市中 ⇒ 4 位 (4 位)

プールの利用率＝年間のプール利用者数(延べ人数)÷人口

※各自治体の公営プールの年間利用者数の合計を人口で割り戻した指標。

※芦原プールについては、休止中のため、直近(令和元年)の利用者数を使用。

② 1 施設あたりの人口(人口カバー率) 14 市中 ⇒ 3 位 (5 位)

1 施設あたりの人口＝人口÷公営プール施設数

※各自治体の人口をプール施設数の合計で割り戻した指標。(1 施設あたりの人口カバー率を算出)

③ 1 施設あたりの面積(面積カバー率) 14 市中 ⇒ 2 位 (3 位)

1 施設あたりの面積＝面積÷公営プール施設数

※各自治体の面積をプール施設数の合計で割り戻した指標。(1 施設のあたりの面積カバー率を算出)

※面積については、市域面積ではなく、居住誘導区域等の居住エリアの面積を割り戻しております。

④ 利用料金の平均値(コストパフォーマンス) 14 市中 ⇒ 9 位 (10 位)

※各プール施設の利用料金の平均値を算出し価格の安い順に比較。

【解説】

尼崎市の公営プールについては、「芦原公園市民プール」のほか、「北雁替公園市民プール」、「サンシビック尼崎」、県営施設の「スポレスト」、「アマラーゴ」(※尼崎の森中央緑地)が立地していることから、他都市と比較してプール施設が充実しており、各指標において高い順位に位置しております。

(近隣市の公営プール施設数は 1 施設～2 施設が平均。)

一方、利用料金については、県営施設など利用料金が高い施設があることで順位が低くなっていることが確認されましたが、県営施設を除くと安価な料金設定となります。

また、各指標において、芦原プールを除いた場合でも概ね同水準の順位に位置する結果となりました。

芦原公園の再整備については、これらの近隣プールの状況に加え、尼崎市民の皆様が再整備に対してどのような考えをお持ちなのかを踏まえ、検討を進めて参りたいと考えておりますので、アンケートへのご協力をお願いします。

注):各指標については、各自治体様から聞き取りを行った数値を基に本市独自で作成していることから、具体的な自治体名などの公表は控えさせていただいております。